



2024年2月14日

各位

上場会社名 東邦亜鉛株式会社
代表者 代表取締役社長 伊藤 正人
(コード番号 5707)
問合せ先責任者 経理部長 田邊 正樹
(TEL 03-6212-1711)

2024年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年11月10日に公表した2024年3月期通期（2023年4月1日～2024年3月31日）の業績予想を、以下のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

2024年3月期通期連結業績予想数値の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

① 修正の内容

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	131,800	△430	△3,630	△30,000	△2,209.54
今回修正予想(B)	130,000	△2,000	△6,000	△33,700	△2,459.95
増減額(B-A)	△1,800	△1,570	△2,370	△3,700	
増減率(%)	△1.4	—	—	—	
(参考) 前期連結実績 (2023年3月期)	145,764	4,049	3,137	794	58.52

② 修正の理由

(単位：百万円)

	前回発表	今回修正	増減額
	百万円	百万円	百万円
売上高	131,800	130,000	△1,800
営業利益	△430	△2,000	△1,570
経常利益	△3,630	△6,000	△2,370
(製錬)	2,360	680	△1,680
(環境・リサイクル)	610	460	△150
(資源)	△6,630	△6,630	－
(電子部材・機能材料)	590	190	△400
(その他)	610	600	△10
(調整額)	△1,170	△1,300	△130
当期純利益	△30,000	△33,700	△3,700

経常利益

(製錬)

在庫削減施策として亜鉛の輸出を増やしたことによる販売価格下落（プレミアム減少）や需給ひっ迫による鉛リサイクル原料調達価格の上昇、在庫評価損益の悪化（ヘッジコストの増加や低価法評価損の計上）などもあり、前回公表比で減益となる見込みです。

(環境リサイクル)

減産による減販の影響で減益となる見込みです。

(電子部材・機能材料)

車載電装向け製品の受注減に加え、一部事業の撤退に伴う在庫評価損計上などにより減益となる見込みです。

当期純利益

経常利益減益の減益に加え、繰延税金資産の減額による税金費用増の影響などにより減益となる見込みです。

(金属価格・為替の予想前提)

	前回公表			今回修正		
	第2四半期 累計 (予想)	下期 (予想)	通期 (予想)	第2四半期 累計 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)
亜鉛 LME(US\$/t)	2,484	2,400	2,442	2,484	2,499	2,492
鉛 LME(US\$/t)	2,144	2,100	2,122	2,144	2,110	2,127
銀 LDN(US\$/oz)	23.9	21.0	22.4	23.9	23.1	23.5
為替(¥/US\$)	141.0	140.0	140.5	141.0	144.4	142.7
為替(US\$/A\$)*1	0.677	0.650	0.664	0.677	0.670	0.674

*1：豪州子会社は12月決算であり、第2四半期累計は1月～6月、下期は7月～12月となります。

(注) 上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上